

令和3年8月6日(金)までに郵送又はWebフォームにてご回答をお願いいたします。

ID : 0000A

Webフォームによる回答は、次のURLまたは右記QRコードよりお願いいたします。
(<https://forms.office.com/r/MbXNh50e86>)



県内企業デジタル化実態調査

本アンケートでは、**貴社の経営層、又はデジタル化の推進に関連する事業部門の責任者もしくは担当者**からの回答を想定し、近年(概ね5年以内)の状況について、約40の質問を設定いたしました。一部の設問を除き選択式となっており、概ね30分~1時間程度の回答時間を想定しております。

問1 デジタル化の脅威についてお尋ねします。

(1) 社会におけるデジタル化の進展は貴社の既存ビジネスの優位性、持続性にどのような影響を与えるとお考えですか。**該当する番号1つに○を付けてください。**

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. 既に影響が出ており、好機と捉えている | 5. あまり影響があるとは思わない |
| 2. 既に影響が出ており、脅威と捉えている | 6. 全く影響はない |
| 3. ある程度は影響する可能性はあり、好機と捉えている | |
| 4. ある程度は影響する可能性はあり、脅威と捉えている | |

(2) デジタル化に対する貴社の取組状況について、どのようにお考えですか。**該当する番号1つに○を付けてください。**

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 他社と比べて、かなり進んでいる | 3. 他社と比べて、あまり進んでいない |
| 2. 他社と比べて、ある程度進んでいる | 4. 他社と比べて、かなり遅れている |

(3) デジタル化の推進に向けた貴社の経営者の関与について、どのような状況ですか。**該当する番号1つに○を付けてください。**

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 経営者が積極的に関与している |
| 2. 経営者がある程度関与している |
| 3. システム部門や現場の責任者などに一任しており、経営者は関与していない |
| 4. デジタル化の推進は行っていない |

(4) デジタル化の進展が与える影響を踏まえ、貴社のビジネスはどのように変化していくとお考えですか。**該当する番号1つに○を付けてください。**

- | |
|---|
| 1. 既存ビジネス自体は変わらない |
| 2. 既存ビジネスにおいて、ビジネスモデル自体はこれからもあまり変わらないが、デジタル化には対応していく |
| 3. 現在のビジネスモデルを継続しつつ、新しいビジネスモデルも開拓する必要がある |
| 4. 現在のビジネスモデルを抜本的に変革する必要がある
(顧客チャネル/サプライチェーンの改革など) |
| 5. 現在のビジネスに拘らず、全く異なる新しいビジネスを創造する必要がある |
| 6. その他 () |

問2 デジタル化にかかる職場環境についてお尋ねします。

① インターネットの接続状況

(1) 貴社では、インターネット回線に接続していますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 問2①(1)で「1. はい」と回答した企業にお尋ねします。

貴社では、どのような回線でインターネットに接続していますか。

該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 光回線 (FTTH 回線) | 6. DSL 回線 (ADSL、VDSL、HDSL、SDSL) |
| 2. ケーブルテレビ回線 (CATV 回線) | 7. 専用線 |
| 3. 電話回線 (ダイヤルアップ) | 8. わからない (もし、契約先/プラン名が分かれば余白にご記入下さい) |
| 4. ISDN 回線 | 9. その他 () |
| 5. 3G・LTE・5G・BWA (WiMAX 等) | |

(3) 社員が利用する PC 機器等の状況について、お尋ねします。該当する番号1つに○を付けてください。

- | |
|---|
| 1. 社員全員が PC 機器等 (スマートフォン・タブレットを含む) を業務に利用している |
| 2. 一部の社員が PC 機器等を業務に利用している |
| 3. PC 機器等は業務に利用していない |

(4) 問2①(3)で選択肢「1」又は「2」と回答した企業にお聞きします。PC 機器等 (パソコン、スマートフォン、タブレット端末等) の支給状況について、該当する番号すべてに○を付けてください。

- | |
|--|
| 1. 携帯電話 (スマートフォン等を除く) を支給している |
| 2. スマートフォン又はタブレット端末を支給している |
| 3. PC を支給している |
| 4. PC 機器等は支給していないが、個人所有の PC 機器等を利用している |

② インターネットによる情報発信

(1) 貴社では、ホームページを開発していますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 開設している | 2. 開設していない |
|-----------|------------|

(2) 問2②(1)で「1. 開設している」と回答した企業にお聞きします。ホームページを開発している理由は何か。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 会社としての信用性の確保 | 5. 自社商品を販売するため |
| 2. 会社の情報を伝えるため | 6. 商品やサービスの情報を詳細に掲載するため |
| 3. 顧客確保のため | 7. 問い合わせや資料請求を受け付けるため |
| 4. 採用を行うため | 8. その他 () |

③ クラウドサービスの利用状況

(1) 貴社では、インターネットを経由し、社内外問わず情報のやり取りが便利に行えるクラウドサービス^注の利用をすすめていますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 全社的に利用している | 3. 利用していないが、今後利用する予定がある |
| 2. 一部の事業所または部門で利用している | 4. 利用していないし、今後利用する予定もない |
| 5. クラウドサービスについてよく分からない | |

注：クラウドサービスとは、大容量ファイル共有サービス、チャット、オフィスソフト等をブラウザで利用するオンラインシステムのこと

問2③(5)へ

(2) 問2③(1)で選択肢「1」又は「2」と回答した企業にお尋ねします。具体的に利用しているクラウドサービスは何ですか。次の中から該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | | |
|-----------------|--------------------------|--------------------|
| 1. ファイル保管・データ共有 | 8. 営業支援 | 14. 購買 |
| 2. データバックアップ | 9. 研究・開発関係 | 15. 生産管理、物流管理、店舗管理 |
| 3. 社内情報共有・ポータル | 10. システム開発、
Web サイト構築 | 16. 課金・決済システム |
| 4. 電子メール | 11. eラーニング | 17. 認証システム |
| 5. スケジュール共有 | 12. 給与、財務会計、人事 () | 18. その他 |
| 6. プロジェクト管理 | 13. 受注販売 | |
| 7. 取引先との情報共有 | | |

(3) 問2③(1)で選択肢「1」又は「2」と回答した企業にお尋ねします。クラウドサービスを利用している理由は何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 既存システムよりもコストが安いから |
| 2. 資産、保守体制を社内に持つ必要がないから |
| 3. システムの容量の変更などに迅速に対応できるから |
| 4. システムの拡張性が高いから (スケーラビリティ) |
| 5. サービスの信頼性が高いから (情報漏えいなど対策) |
| 6. 安定運用、可用性が高くなるから |
| 7. 場所、機器を選ばずに利用できるから |
| 8. 災害時のバックアップとして利用できるから |
| 9. その他 () |

(4) 問2③(1)で選択肢「1」又は「2」と回答した企業にお尋ねします。クラウドサービスの利用目的に対して効果はありましたか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1. 非常に効果があった | 3. あまり効果がなかった | 5. 効果はよく分からない |
| 2. ある程度効果があった | 4. マイナスの効果があった | |

(5) 問2③(1)で「4. 利用していないし、今後利用する予定もない」と回答した企業にお尋ねします。クラウドサービスを利用しない理由は何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1. クラウドサービスの導入に伴う
既存システムの改修コストが大きい | 6. 情報漏えいなどセキュリティに不安がある |
| 2. クラウドサービスの導入によって
自社コンプライアンスに支障をきたす | 7. 法制度が整っていない |
| 3. 通信費用がかさむ | 8. 必要がない |
| 4. ニーズに応じたアプリケーションの
カスタマイズができない | 9. メリットが分からない |
| 5. ネットワークの安定性に対する不安がある | 10. クラウドサービスを扱える人材が社内にはいない |
| | 11. クラウドサービスの導入を検討したことがない |
| | 12. その他 () |

④ テレワークの導入状況

(1) 貴社では、テレワーク^注を導入されていますか。該当する番号1つに○を付けてください。
(導入している場合は、a～cの該当する項目すべてに○を付けてください。)

- | |
|---|
| 1. 導入している (a. 在宅勤務 b. サテライトオフィス勤務 c. モバイルワーク) |
| 2. 導入していないが予定がある |
| 3. 導入していない。具体的な導入予定もない |

注：テレワークとは、貴社建物から離れたところに居ながら、通信ネットワークを活用することにより、貴社建物内で勤務する場合とほぼ同等の仕事ができる勤務形態のことです。
具体的には以下の形態があります。

次ページ問2④(7)へ

在宅勤務	終日在宅勤務のほか、1日の勤務時間のうち、一度オフィスに出勤、もしくは顧客訪問や会議参加などをしつつ、一部の時間は自宅で勤務を行う「部分在宅勤務」も該当します。
サテライトオフィス勤務	所属するオフィス以外の他のオフィスやシェアオフィス、コワーキングスペース、遠隔勤務用の施設を就業場所とする働き方。
モバイルワーク	営業活動などで外出中に作業する場合。営業職などの従業員がオフィスに戻らずに移動中の交通機関や駅・カフェなどでメールや日報の作成などの業務を行う形態も該当します。

(2) 問2④(1)で「1. 導入している」と回答した企業にお尋ねします。

テレワークの導入時期について、新型コロナウイルス感染症の流行後に導入しましたか。
該当する番号1つに○を付けてください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 流行前から導入 | 2. 流行後に導入 |
|------------|-----------|

(3) 問2④(1)で「1. 導入している」と回答した企業にお尋ねします。

新型コロナウイルス感染症が終息しても、テレワークを継続しますか。
該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1. 継続する | 2. 継続しない | 3. わからない |
|---------|----------|----------|

(4) 問2④(1)で「1. 導入している」と回答した企業にお尋ねします。

どのくらいの割合の従業員がテレワークを利用していますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 5%未満 | 3. 10%～30%未満 | 5. 50%～80%未満 |
| 2. 5%～10%未満 | 4. 30%～50%未満 | 6. 80%以上 |

(5) 問2④(1)で「1. 導入している」と回答した企業にお尋ねします。

貴社において、テレワーク導入目的は次のどれですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------------------|
| 1. 業務の効率性（生産性）の向上 | 8. 人材の雇用確保・流出の防止 |
| 2. 業務の創造性の向上 | 9. 障害者、高齢者、介護・育児中の社員などへの対応 |
| 3. 勤務者のワークライフバランスの向上 | 10. 省エネルギー、節電対策 |
| 4. 長時間労働の削減 | 11. 非常時（地震、台風、大雪、感染症拡大防止など）の事業継続に備えて |
| 5. オフィスコストの削減 | 12. サテライトオフィスの設置・副業人材の獲得 |
| 6. 勤務者の移動時間の短縮・混雑回避 | 13. その他（ ） |
| 7. 顧客満足度の向上 | |

(6) 問2④(1)で「1. 導入している」と回答した企業にお尋ねします。

問2④(5)で回答したテレワーク導入目的に対して、全般的に効果はありましたか。
該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1. 非常に効果があった | 3. あまり効果がなかった | 5. 効果はよく分からない |
| 2. ある程度効果があった | 4. マイナスの効果があった | |

(7) 問2④(1)で「3. 導入していないし、具体的な導入予定もない」と回答した企業にお尋ねします。導入しない理由は何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. テレワークに適した仕事がないから | 8. 情報漏えいが心配だから |
| 2. 業務の進行が難しいから | 9. 顧客など外部への対応に支障があるから |
| 3. 導入するメリットがよく分からないから | 10. 費用がかかりすぎるから |
| 4. 社員の評価が難しいから | 11. 人事制度導入に手間がかかるから |
| 5. 社内のコミュニケーションに支障があるから | 12. 給与計算が難しいから |
| 6. 周囲の社員にしわ寄せがあるから | 13. 文書の電子化が進んでいないから |
| 7. 労働組合や社員から要望がないから | 14. その他 () |

(8) 貴社において、テレワークがより一層普及する又は、取り組みを始めるきっかけとなる要素は、何だと思えますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

<企業内における取組>

- | | | |
|-------------|------------|-----------------|
| 1. 労務管理の適正化 | 2. 執務環境の整備 | 3. 情報通信システムの高度化 |
| 4. その他 () | | |

<国または地方自治体による取組・支援>

- | |
|---|
| 5. テレワークの普及・啓発活動（セミナー開催・パンフレット配布など） |
| 6. テレワーク導入にあたり相談可能な窓口の設置 |
| 7. テレワーク導入企業などに対する補助・助成 |
| 8. 進出企業を受け入れる地方自治体とのマッチング |
| 9. サテライトオフィスなどの拠点整備に対する支援 |
| 10. サテライトオフィスなどの拠点運営に対する支援 |
| 11. 地域でテレワークを普及拡大するための担い手の育成（セミナー開催・研修実施など） |
| 12. その他 () |

⑤ 情報通信ネットワークの安全対策

(1) 過去1年間において、以下の被害を受けましたか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. 標的型メールが送られてきた | 7. ランサムウェア(身代金要求) |
| 2. コンピュータウイルスを発見したが感染しなかった | 8. ホームページの改ざん |
| 3. コンピュータウイルスに少なくとも1回は感染した | 9. 故意・過失による情報漏えい |
| 4. 不正アクセス | 10. その他の被害 |
| 5. スпамメールの中継利用・踏み台 | () |
| 6. DoS (DDos)攻撃 (サーバへの負荷攻撃) | 11. 特に被害はない |

(2) 貴社では、情報通信ネットワークのデータセキュリティやウイルス対策に関して、どのように対応していますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| 1. セキュリティポリシーの策定 | 12. データのバックアップ |
| 2. セキュリティ監査 | 13. 認証技術の導入による利用者確認 |
| 3. セキュリティ管理のアウトソーシング | 14. データやネットワークの暗号化 |
| 4. 社員教育 | 15. 回線監視 |
| 5. パソコンなどの端末(OS、ソフトなど)にウイルス対策プログラムを導入 | 16. 回線の2重化 |
| 6. サーバにウイルス対策プログラムを導入 | 17. ファイアウォールの設置・導入 |
| 7. OSへのセキュリティパッチの導入 | 18. プロキシ(代理サーバ)などの利用 |
| 8. 外部接続の際にウイルスウォールを構築 | 19. 不正侵入検知システム(IDS)の設置・導入 |
| 9. ウイルス対策対応マニュアルを策定 | 20. Webアプリケーションファイアウォールの設置・導入 |
| 10. ID、パスワードによるアクセス制御 | 21. その他の対策 () |
| 11. アクセスログの記録 | 22. 特に対応していない |

問3 デジタル化推進にかかる人材の育成・確保の状況についてお尋ねします。

(1) 貴社では、デジタル化を推進するための人材は足りていますか。

該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|
| 1. 足りている | 2. 足りていない | 3. 社内には必要ない | 4. わからない |
|----------|-----------|-------------|----------|

(2) 問3(1)で「2. 足りていない」と回答した企業にお尋ねします。

貴社ではどういった人材が足りていませんか。 **該当する番号すべてに○を付けてください。**

- | |
|-------------------------------------|
| 1. PCの基本的な操作(インターネット検索、メール等) |
| 2. Excel等の表計算ソフトによる簡単な集計 |
| 3. ホームページの基本的な作成技術者 |
| 4. ネットワーク技術者(社内ネットワーク管理) |
| 5. システム開発技術者(社内システム開発) |
| 6. データサイエンティスト(高度な集計や統計処理等の分析) |
| 7. SDN/NFV関連人材(拠点間VPN等の高度なネットワーク設定) |
| 8. IoTシステムを担う人材(社内改善が目的の簡易なシステム構築) |
| 9. セキュリティ人材(セキュリティポリシーや事業継続計画の策定) |
| 10. その他 () |

(3) 問3(1)で「2. 足りていない」と回答した企業にお尋ねします。

貴社では、デジタル化を推進する人材の確保対策として、どのような手段をとられていますか。

該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 新卒採用確保 | 6. クラウドソーシング |
| 2. 経験者採用 | 7. テレワークなどの柔軟な雇用形態の整備 |
| 3. 外部へ業務委託(国内) | 8. 社員の副業の認定 |
| 4. 外部へ業務委託(海外) | 9. その他 () |
| 5. 社内で人材育成 | 10. 対策はしていない |

問4 データの収集・利活用の取組についてお尋ねします。

近年、デジタルデータを収集・解析することで、新たな価値の創出や課題解決が可能になりつつあります。

(1) 貴社では、企業活動において活用するためにデータの収集を行っていますか。

該当する番号1つに○を付けてください。

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 収集し、データ分析などで活用している | 3. 収集していない |
| 2. 収集しているが、活用までは至っていない | 4. わからない |

(2) 貴社では、社内の効率化などのためにIoTやAIを利用したシステムを導入していますか。 **該当する番号**

1つに○を付けてください。

- | | | |
|------------|-------------------|----------|
| 1. 導入している | 3. 検討したが、導入していない | 5. わからない |
| 2. 導入予定がある | 4. 導入について、検討していない | |

次ページ問4(3)へ

8ページ問4(8)へ

次ページ問4(6)へ

- (3) 問4(2)で「1. 導入している」「2. 導入予定がある」と回答した企業にお尋ねします。
デジタル技術やIoT、AIを利用したシステムの導入の目的は何ですか。
該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 生産の効率化・業務改善 | 5. 経営・財務 |
| 2. 事業継続性 | 6. 人事 |
| 3. 事業の全体最適化 | 7. 顧客サービス向上 |
| 4. 新規事業 | 8. その他 () |

- (4) 問4(3)で「1. 生産の効率化・業務改善」と回答した企業にお尋ねします。
具体的な内容は次のうちどれですか。**該当する番号すべてに○を付けてください。**

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1. 生産管理(品質や労務の管理)の効率化 | 7. 研究開発データの収集・分析 |
| 2. 生産ライン(製造・検品)の自動化 | 8. 顧客の分析・マーケティング・販路開拓 |
| 3. 多品種生産への対応強化(設計・研究工程) | 9. 情報共有や意思決定の迅速化 |
| 4. 多品種生産への対応強化(生産・検査工程) | 10. 商品やサービスの付加価値向上・差別化・
囲い込み |
| 5. 設備の保守・見守り・故障予測 | 11. その他 |
| 6. 試作開発における設計や評価の効率化
(シミュレーション、3D計測など) | () |

- (5) 問4(2)で「1. 導入している」と回答した企業にお尋ねします。
導入したシステムについて効果はありましたか。**該当する番号1つに○を付けてください。**

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1. 非常に効果があった | 3. あまり効果がなかった | 5. 効果はよく分からない |
| 2. ある程度効果があった | 4. マイナスの効果があった | |

- (6) 問4(2)で「3. 検討したが、導入していない」と回答した企業にお尋ねします。
解決を図りたい課題は何ですか。**該当する番号すべてに○を付けてください。**

- | | | |
|----------------|----------|-------------|
| 1. 生産の効率化・業務改善 | 4. 新規事業 | 7. 顧客サービス向上 |
| 2. 事業継続性 | 5. 経営・財務 | 8. その他 |
| 3. 事業の全体最適化 | 6. 人事 | () |

- (7) 問4(2)で「3. 検討したが、導入していない」と回答した企業にお尋ねします。
導入しない理由は何ですか。**該当する番号すべてに○を付けてください。**

- | |
|------------------------------|
| 1. 導入に必要な通信インフラなどが不十分だから |
| 2. 利活用や導入に関する法令などの整備が不十分だから |
| 3. 導入後のビジネスモデルが不明確だから |
| 4. 導入コスト、運用コストがかかるから |
| 5. 自社の生産形態に対して、適合するシステムがないから |
| 6. 使いこなす人材がないから |
| 7. 導入すべきシステムやサービスが不明だから |
| 8. その他 () |

(8) 問4(2)で「4. 導入について、検討していない」と回答した企業にお尋ねします。

検討していない理由は何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 有用性は認識しているが、検討する余裕がない | |
| 2. 課題がどのように紐付くかわからない | 4. IT活用を検討・実行する手間が割に合わない |
| 3. すぐに取り組む必要性を感じない | 5. その他 () |

(9) デジタル化にかかるシステム導入に関して相談できる相手は、次のうちどちらですか。

該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. ITベンダー | 6. 公的な支援機関 |
| 2. 経営者仲間 | 7. 金融機関 |
| 3. IT専門家(個人) | 8. 相談できる相手はいない |
| 4. 事務機器等販売代理店 | 9. その他 () |
| 5. 士業 (弁護士・公認会計士・行政書士・弁理士・税理士など) | |

問5 デジタル化の推進にあたっての支援についてお尋ねします。

(1) 貴社においてデジタル化を進めるにあたって、利用したい支援策は何ですか。

該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1. 技術的な相談・専門家によるアドバイス | 6. 経営的な相談 |
| 2. 公設試験 ^注 での機器(ソフトウェアを含む)の利用 | 7. 経営者向け啓発セミナー |
| 3. デジタル技術に関する初心者向けの技術セミナー | 8. デジタル化推進を目的とする組織の立ち上げ(組織・団体への参加) |
| 4. デジタル技術に関する専門的な技術セミナー | 9. 補助金 |
| 5. デジタル技術に関する試作支援や共同研究 | 10. その他 () |
| | 11. 特に支援は必要ない |

注：公設試験研究機関のこと。地域の中小企業の技術に関する相談窓口として、様々な支援を実施。

(2) 問5(1)で選択肢「1」～「5」と回答した企業にお尋ねします。

具体的にどのような技術を必要としていますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. AI技術(ディープラーニング等) | 8. 解析シミュレーション |
| 2. 画像処理技術(OpenCV、ImageJ等) | 9. リバースエンジニアリング |
| 3. センサネットワーク構築技術(IoT) | 10. 電気回路技術 |
| 4. プログラミング言語 | 11. 組み込みシステム技術 |
| 5. デジタルものづくり | 12. サーバ構築・VPN・ネットワークセキュリティ |
| 6. 3Dスキャン計測技術 | 13. ロボット技術 |
| 7. 3DCAD設計 | 14. その他 () |

問6 デジタル化の推進のための指標であるDX推進指標[※]についてお尋ねします。

次の質問(1)～(7)は、経済産業省が公開したDX推進指標の一部について、お聞きするものです。

注：DX推進指標とは、経営者や社内関係者がデジタル化にかかる現状や課題に対する認識を共有し、アクションにつなげるための機会を提供することを目的として策定された指標です。

(経済産業省、<https://www.meti.go.jp/press/2019/07/20190731003/20190731003.html>、参照 2021-6-10)

- (1) 貴社では、事業環境の変化に迅速に対応するため、データとデジタル技術の活用を検討し、どのような改善[※]を進めていくべきか、目標(ビジョン)の共有ができていますか。該当する番号1つに○を付けてください。

注：改善とは、顧客目線でのサービスの見直し、社内環境の改善等を含みます。

1. 目標が提示されていない
2. 目標は提示されているが、現場の取組は目標に紐づいて行われているとは言えない
3. 目標が明確に提示され、一部の部門での取組が目標に整合的に進められている
4. 目標が明確に提示され、全社での取組が目標に整合的に進められている
5. 目標が明確に提示され、全社での取組が、目標の達成度合いで評価するモニタリングの仕組みにより、持続的に進められている
6. 目標がグローバル競争を勝ち抜くことができるものとなっており、全社での取組が、グローバル競争で勝ち抜くとの認識の共有の下に、持続的に進められている

- (2) 問6(1)で選択肢「2」～「6」と回答された企業にお聞きします。貴社では、目標(ビジョン)の実現に向けて、ビジネスモデルや業務プロセス、企業文化を変革するために、組織整備、人材・予算の配分、プロジェクト管理や評価等の仕組みが、経営者のリーダーシップの下、明確化され、実践されていますか。該当する番号1つに○を付けてください。

1. 仕組みができていない
2. 一部の仕組みが明確化・実践されているが、一部の仕組みは明確化されていない
(例. 組織を作って人は配置しているが、予算が十分に配分されていない)
3. 仕組みが明確化され、一部の部門で実践されている
4. 仕組みが明確化され、全社的に実践されている
5. 仕組みが明確化され、全社で持続的なものとして定着している
6. グローバル競争を勝ち抜くことをゴールとして仕組みが構築され、全社で持続的なものとして定着している

- (3) 貴社では、挑戦を促し失敗から学ぶプロセスをスピーディーに実行し、継続できる仕組みが構築できていますか。該当する番号1つに○を付けてください。

1. 仕組みができていない
2. 一部の仕組みが実践されているが、一部の仕組みは明確化されていない
3. 仕組みが明確化され、一部の部門で実践されている
4. 仕組みが明確化され、全社的に実践されている
5. 仕組みが明確化され、全社で持続的なものとして定着している
6. チャレンジの度合いやデリバリースピード等において、グローバルを勝ち抜けるレベルに達している

(4) 貴社では、デジタル化の推進を担当する部署や人員と、その役割が明確になっていますか。また、必要な権限は与えられていますか。該当する番号1つに○を付けてください。

1. 明確になっていない
2. デジタル化の推進を担当する部署はあるが、人員や予算が不十分であったり、他部門との関係が不明確であるなど、試行錯誤中である
3. デジタル化の推進を担当する部署や人員と、その役割が明確に必要な権限が与えられた十分な体制となっており、一部の部門のデジタル化の推進の取組を牽引・支援している
4. デジタル化の推進を担当する部署や人員と、その役割が明確に必要な権限が与えられた十分な体制となっており、各部署を巻き込んで、全社的なデジタル化の推進の取組を横串を通す形で牽引・支援している
5. デジタル化の推進を担当する部署や人員の活動・成果を継続的に評価する仕組みがあり、全社でのデジタル化の推進の取組が持続的なものとして定着している
6. 全社的なデジタル化の推進の取組がグローバル競争を勝ち抜けるレベルで牽引・支援できている

(5) 貴社では、デジタル化の推進等の新たな取り組みに必要な人材の育成・確保に向けた取組が行われていますか。該当する番号1つに○を付けてください。

1. 行われていない
2. 部署ごとでバラバラに行っている
3. 戦略的な社内育成と外部からの調達に関する計画が提示され、一部の部門で推進している
4. 戦略的な社内育成と外部からの調達に関する計画があり、必要なリソースが割当てられ、全社的に取り組んでいる
5. 全社的に人材の育成、確保のための制度を整備している（人事評価・報酬体系、キャリアパス等）
6. グローバル競争を勝ち抜くことのできるレベルでの人材の育成・確保が行われている

(6) 貴社では、ビジネスモデルや業務プロセスの改革に対して、現場とよく話し合い、経営者自らがリーダーシップを発揮して取り組んでいますか。該当する番号1つに○を付けてください。

1. 取組が行われていない
2. 現場の課題が発生しており、さらなる経営者のリーダーシップが必要である、あるいは子会社設立等、別のアプローチが必要である
3. 経営者がリーダーシップを発揮して、一部の部門で改革に向けた取組が進んでいる
4. 経営者がリーダーシップを発揮し、全社的に改革に向けた取組が進んでいる
5. 改革に向けた取組について、達成度合いで評価するモニタリングの仕組みにより、全社で持続的なものとして定着している
6. 改革に向けた取組が、グローバル競争を勝ち抜くことのできるレベルで持続的に行われている

(7) 貴社では、既存の IT システム(財務、会計、受発注、生産管理、情報共有等の基幹システム)にどのような見直しが必要であるかを認識し、必要に応じて対応策（運用方法・人材配置・システム改修等）が講じられていますか。該当する番号 1 つに○を付けてください。

1. 認識していない。IT システムは導入していない
2. 認識はしているものの、対応はまだできていない。あるいは、対応は一部できているものの、目標実現のためのものとしては不十分である
3. 既存の IT システムにどのような見直しが必要であるかを十分に認識し、ビジョン実現のためのプランニングがあり、今後実行に移すあるいは実行中である
4. 既存の IT システムにどのような見直しが必要であるかを十分に認識し、ビジョン実現のためのプランニングの下に、全社的に対応がなされた状態である
5. 既存の IT システムにどのような見直しが必要であるかを十分に認識し、全社的に対応がなされ、継続的に改善していく仕組みが定着している
6. グローバル競争を勝ち抜く観点から、既存の IT システムにどのような見直しが必要であるかを十分に認識し、全社的に対応がなされ、継続的に改善している

問7 貴社の概要について

最後に、貴社の概要についてお尋ねします。なお、有価証券報告書に回答内容と同様の記入がされている場合は、記入せず該当部分の複写を添付されても差し支えありません。その際は、該当箇所がわかるよう下線を引いてください。

(1) 次の項目について、金額または人数を数字で記入してください。

※金額については、**百万円単位**で数字（右詰め）で記入してください。

番号	調査項目	金額 または 人数						単位
F1	資本金							百万円
F2	年間売上高							百万円
F3	営業利益							百万円
F4	従業員数							人

(2) 貴社の業種は次のうちどちらですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

（日本標準産業分類 中分類に基づく）		
09 食料品製造業	19 ゴム製品製造業	29 電気機械器具製造業
10 飲料・たばこ・飼料製造業	20 なめし革・同製品・毛皮製造業	30 情報通信機械器具製造業
11 繊維工業	21 窯業・土石製品製造業	31 輸送用機械器具製造業
12 木材・木製品製造業(家具を除く)	22 鉄鋼業	32 その他の製造業
13 家具・装備品製造業	23 非鉄金属製造業	37 通信業
14 パルプ・紙・紙加工品製造業	24 金属製品製造業	39 情報サービス業
15 印刷・同関連業	25 はん用機械器具製造業	40 インターネット附随サービス業
16 化学工業	26 生産用機械器具製造業	41 映像・音声・文字情報制作業
17 石油製品・石炭製品製造業	27 業務用機械器具製造業	
18 プラスチック製品製造業	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	
99. その他の業種 ()

質問は以上です。長時間にわたってご協力をいただき、本当にありがとうございました。

最後に、今回の調査結果について、奈良県ホームページで公開する際に皆様へご覧いただけるようメールにてお知らせいたします。ご希望される場合、メールアドレスをご記載ください。

（以下の回答内容は、調査結果のホームページ掲載のお知らせの目的以外に使用いたしません。）

連絡先メールアドレス	
ご担当者の所属（貴社名）・ 部署名	
ご担当者のお名前	